

1. 事業主旨・目的

東日本大震災の発生から10年目を迎え「復興・創生期間」の最終年度となる区切りの年である2020年に、“復興五輪”を基本方針とする東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、全世界から日本への注目が高まる。

この機会に『世界から寄せられた支援に対する感謝の気持ち』や『復興に向けて着実に歩んでいる元気で安心な東北の姿』、『日本の他地域では味わえない観光地“東北・新潟”の魅力』を様々な方法で世界に発信することで、①東北・新潟の認知度を向上させ、風評を払拭し、②東北・新潟への訪問意欲の喚起および送・誘客の創出を行うとともに、③東北・新潟エリアでの交流人口拡大・消費拡大を図る。

2. 事業概要

- 1) 事業期間：** ①2020年7月18日（土）～8月9日（日）（23日間）
⇒メイン会場およびサテライト会場（以下の（a）） ※サテライト会場（a）は、このうち7月21日（火）～7月27日（月）（7日間）
②2020年8月24日（月）～8月30日（日）（7日間）
⇒サテライト会場（b） ※なお、8月25日（火）～9月6日（日）のうち一日、別途イベントを実施
- 2) 実施拠点：** A) メイン会場：高輪ゲートウェイ駅前特設会場「Takanawa Gateway Fest」ホールB
B) サテライト会場：（a）渋谷エキスポ（現・東急百貨店東横店）8階催事会場（渋谷） （b）三井住友銀行東館ライジング・スクエア（丸の内）
- 3) ターゲット：** 事業期間中の訪日外国人および国内居住者
- 4) 実施内容：** ①東日本大震災からの復興の現状および復興支援への感謝等の発信
②東北・新潟の観光情報の発信および伝統文化（伝統工芸、食・酒、祭り等伝統芸能など）の紹介・体験ならびに地場製品の販売
③東北・新潟の認知度向上・魅力発信のための各種プロモーション活動
- 5) 主催：** 2020年東北・新潟の情報発信拠点事業「東北ハウス」実行委員会（委員長：海輪 誠（一社）東北経済連合会 会長）



提供：JR東日本

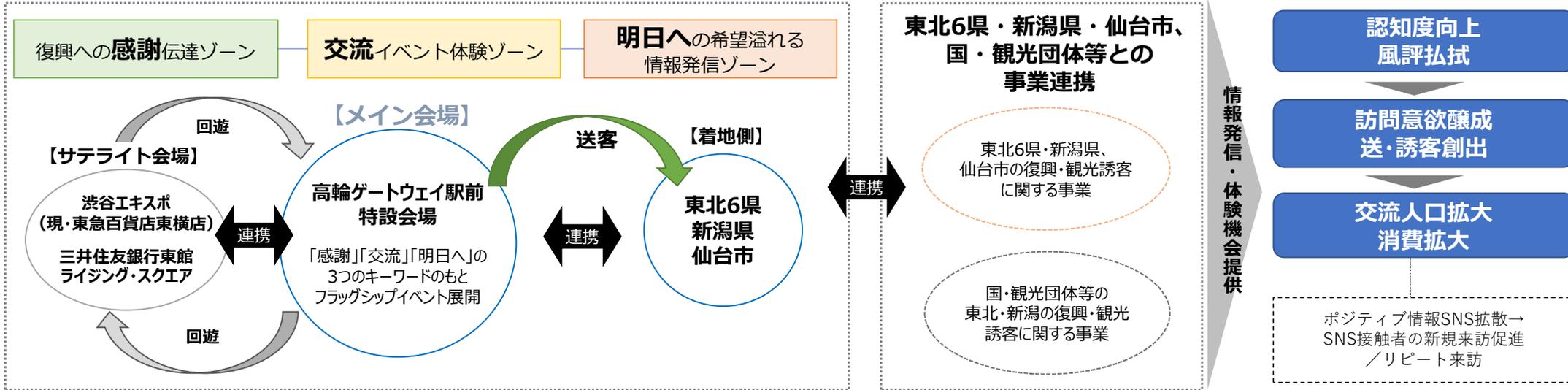
高輪ゲートウェイ駅前のイベント空間
（※イメージイラスト）



東北ハウスのコンテンツの一つ【大型スクリーン映像】
（※画像は参考イメージ）

3.基本計画の考え方

◆事業全体の展開イメージ



◆メイン会場・サテライト会場での展開概要

メイン会場での展開	展開・実施内容
感謝ゾーン	・世界中から届いた支援への「感謝」のメッセージや、震災から10年目を迎えて着実に復興に向かっていく現状をパネルや映像等で発信
交流ゾーン	・東北・新潟のありのままの風景と魅力を伝える、新たな演出方法も駆使した迫力ある映像を大型スクリーンで上映 ・東北・新潟の風土が育んできた伝統文化である伝統工芸の体験 ・東北・新潟が誇る食と酒の試飲・試食体験 ・東北・新潟のキラコンテンツであるスノーコンテンツ体験や祭りの実演
明日へゾーン	・東北・新潟の次世代を担う子どもたちの取り組みや未来に向けて活動を行っている企業・団体の取り組みをパネル展示等で紹介
サテライト会場での展開	展開・実施内容
・都内百貨店 ・都内企業イベント会場	・東北・新潟ならではの地場産品の販売 ・東北・新潟の観光・復興情報の発信、体験イベントの実施、伝統芸能の実演 ・東北の復興・魅力発信に関するイベントの実施

◆メイン会場のゾーニングイメージおよび主なコンテンツ概要

(※写真・イラストはすべてイメージです)



【感謝の等身大パネル】
被災地で復興に取り組んできた
方々の写真や
感謝のメッセージを表示

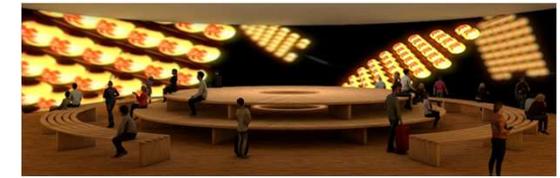
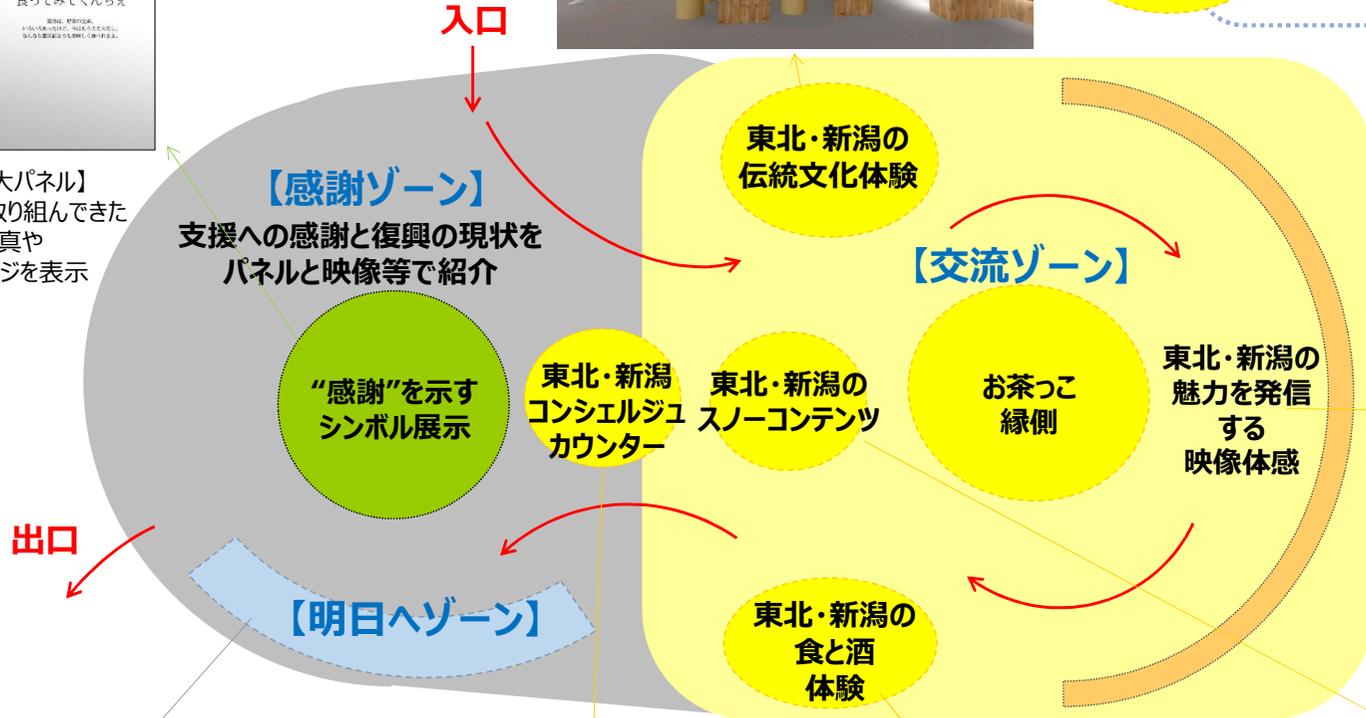
東北・新潟の「伝統工芸」
の体験・展示コーナー



【屋外】
東北・新潟の
祭り
[限定実施]



東北・新潟の祭りを実演



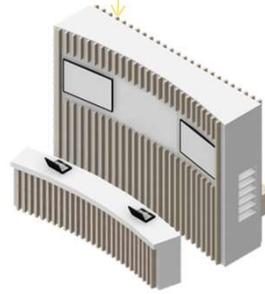
【大型スクリーン映像】
東北・新潟のありのままの風景と魅力を
新たな演出方法も駆使した迫力ある映像で体感



東北・新潟のクリアコンテンツである
“雪”の疑似体験



子供たちや企業・団体の未来に向けた活動を紹介



東北・新潟の旬な情報やスポット、
アクセス等を案内



東北・新潟の「食」「酒」の試飲・試食コーナー